

SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業 を結ぶ情報紙 — 地域版 —

発行
No.

70

発行日：令和3年1月15日(金)
(2021年)

地域企業紹介 No. 70

株式会社ミヨシ・ロジスティクス

“着眼大局 着手小局”と“人間力”で 地域社会に貢献

作業請負・人材派遣を主業とする株式会社ミヨシ・ロジスティクスの吉田英訓社長を相模原市緑区下九沢の本社に訪ねました。

吉田英訓社長は横浜市中区出身。小学生の頃は地元サッカークラブに所属し汗を流した。中学時代はバスケットボール部に入学したが、高校時代は再びサッカー部で活躍した。「頭を使うより体を動かす方が好きでした。今は口ばかり動かしています(笑)」と吉田社長。また、学級委員長に立候補するなど、小さい頃からリーダーシップを発揮するタイプだったようだ。高校時代には、完成直後の瀬戸大橋を見に四国へ行くため、修学旅行の実行委員長にも立候補。見事、委員長に選任され夢を叶えた。その後、産業能率大学経営情報学部で経営学を学んだ。大学時代はテニスサークルに所属し、お約束通り3年時には同サークルの会長を務めた。昔から目立ちたがり屋で負けず嫌いな性格。そのせいか少し生意気に見られ周囲から叩かれることもあったようだ。だが、それ以上に分かり合える仲間も多かったと振り返る。大学卒業後、スーパーマーケットの精肉部門で1年半ほど勤務した後、ミヨシ・ロジスティクスに入社。メイン取引先である大手重工業メーカーの工場内で、小型エンジンの製造ラインに部品を供給する業務に従事した。2003年には、一旦同社を離れ、介護施設を運営する有限会社こもれび(同社関連会社)の社長兼施設長に就任。ホームヘルパー資格をはじめ、福祉住環境コーディネーターや福祉用具専門相談員などの資格を次々に取得。さらに、販売士の資格も取得した。立ち上げ当初はかなり苦しかったが、介護にサービス業の要素を取り入れた経営戦略が奏功し、約半年ほどで採算ベースに乗せた。そんな最中、大手自動車メーカーの請負業務を獲得したことで急速ヘルプ要請がかかり、ミヨシ・ロジスティクスへ戻るようになった。

同社は、1992年5月に現会長の吉田潔氏によって、大手重工業メーカーをメイン取引先とするアウトソーシング会社として設立された。その堅実な実績から大手建機メーカーとの取引も開始。その後も上場企業を中心に取引先を着実に増していく。2004年には北海道事業所を開設し、特殊車両の整備事業を開始した。近年、アウトソーシングは定型業務やコスト削減面だけではなく、企業競争力の強化、生産性・効率性の向上、スピードや品質の向上に加えて、組織のスリム化・人の再配置による企業再構築などの高い付加価値を生み出すことを目的に活用されるケースも増えている。顧客ニーズが多様化する中、同社はエンジン部品の組立作業をはじめ、フォークリフト免許取得者からクレーン技能者、



代表取締役社長：吉田 英訓 (よしだ ひでのり)
所在地(本社)：神奈川県相模原市緑区下九沢 2129-4
従業員数：169名
資本金：1,000万円
事業内容：人材派遣・請負業
(生産事業・業務事業・技術事業・国際事業)
URL：<https://miyoshi-log.co.jp/>

事務スタッフまで様々な技能を有する169名のスタッフが、製造業を中心に地域の大手・中小企業を手厚くサポートしている。そんな同社の社是は「着眼大局 着手小局」だ。大局視点で全体を把握することが必要であり、実際に手をつける取り組みや作業は足許の小さな所から始め、着実に進めるべきとするもの。きちんと目的・方針を作成し、目標を定め日々行動していくことで成果が生まれるという意味を持つ。同時に生産性向上やカイゼンを常に追求し進化を目指す。こうした企業文化・マインドが取引先からの信頼獲得に結び付いていることが同社の特徴であり大きな強みだ。

吉田社長がミヨシ・ロジスティックスの代表取締役役に就任したのは、2013年42歳の時である。社会人になってからも、相模原市青年工業経営研究会会長、近未来技術研究会会長、相模原市南西フォーラム副委員長・委員長などを歴任し、地域経済の発展に貢献している。「その時々での“厳しい人たち”との出会いから、褒めるときは褒め、叱るときは叱る。簡単に助け舟を出すのは、相手の成長を妨げることになる。相手のために叱れる人こそ、思いやれる人だ、という考え

方が定着した」と熱く語ってくれた。そして、「人」が最も重要なリソースである同社は、何よりも人材育成に力を注ぐ。その人材育成の根幹は、“人間力”の醸成だ。知識や技能も必要だが、それ以上に自責と他責を意識した人間力が大事。「うまくいったら皆さんのお蔭、失敗したら自分の努力不足」と言える自責思考。「こうした自責思考の人には“人間力”の高い人が多い」と吉田社長は語る。

そんな吉田社長は、毎年その年の進むべき方向性・考え方をスローガンにして、全社の一致団結を図っている。2019年は「凡事徹底」、2020年は「進化」だった。そして今年2021年は「集中」だ。コロナ禍で今年も大変な状況が想定される中、高い安全性・生産性・品質を実現し、より一層お客様に喜んで頂けるホスピタリティの高い仕事をしていくため、一つ一つの仕事に一生懸命“集中”していこう！という意味が込められている。新たな年の始まりに、このスローガンを掲げ、地域に根差した事業を通じて、社会の発展に貢献する吉田社長とミヨシ・ロジスティックスの皆さんの挑戦に終わりはなさそうだ。

“明るく前向きにクフウして”を理念に 新たなロボットの開発に挑戦!!

株式会社クフウシャ

自律移動ロボットの開発や協働ロボットのシステムインテグレーションを行う株式会社クフウシャの大西威一郎社長にお話を伺いました。

もともと中小企業診断士として企業支援に取り組んでいた大西社長。その後、ロボットビジネス支援や、かつてソフトウェア開発に携わっていた経験を活かし、ロボット事業に着手しました。SICには、2019年9月より入居しています。

同社が力を入れているのは、工場だけでなく、物流・建設・介護などの現場でも活躍する自律移動ロボットやサービスロボットの分野です。特に、自律移動ロボットでは、オープンソース型のROS(Robot Operating System)を採用し、センサやビジョン、AIなどの技術を組み合わせ、あらゆる現場で活躍できるロボットの開発に取り組んでいます。

そんな同社が開発している自律移動ロボットの一つが、業務用ドライ掃除ロボット「Asion(アシオン)」です。機体に搭載した8つのセンサで周囲の情報を収集・解析し、人や物との衝突を避けながら時速約1.2kmで清掃していきます。連続稼働時間は最大4時間で、1回の清掃で約2,500㎡を掃除することができます。高さは870mm、

重さは60kgで、他社製品に比べて吸引力が強く、点字ブロックなどの段差も難なく乗り越えることが可能です。タブレットで操作できる扱いやすさも特長で、本年中の販売開始を目指し開発は最終段階に入っています。本製品は、相模原市内の株式会社キャロットシステムズと株式会社F-Designとの三社で共同開発したロボットとしても注目を集めています。



業務用ドライ掃除ロボット
“Asion”

また、一昨年から、福島県南相馬市にも事業所を開設しています。南相馬市には、多様なフィールドロボットの実証実験ができる研究開発拠点「福島ロボットテストフィールド」が整備されています。相模原市と同様に、多くのロボット関連企業が集まる南相馬市に進出することで、研究開発に必要なリソースの確保や現地企業との連携・協業ネットワークの構築が図られました。相模原市と南相馬市という、「ロボットのまち」を掲げる2市にまたがりロボット事業に取り組むことで、地域を牽引するロボット開発ベン

チャー企業として大きな期待を背負っています。

そのほか、自律移動ロボットの開発だけでなく、協働ロボットのシステムインテグレーションにも力を入れています。例えば、株式会社ファブエース(横浜市都筑区)と共同開発したTIG溶接の自動化システム「Co-TIG Welders」では、ユニバーサルロボット社製の協働ロボットを採用しています。本システムは、精密板金の溶接工程に適したコンパクトな設計で、中小企業でも導入・設置しやすいシンプルなものとなっています。特殊なプログラミングの習得も不要で、直感的な操作によって短時間でティーチングできる点も評価されています。作業現場の実情に適した本システムは、すでに多くの導入実績があり、板金業界の生産性向上や品質安定に一役買っています。

同社では、ソフトウェア開発をコア技術とし、電気制御、回路設計、マイコン開発、メカ設計などロボットの開発に必要な要素を兼ね備えながら、「明るく前向きにクフウして」を理念に挑戦を続けていきます。



新年あけましておめでとうございます。 謹んで新年のお慶びを申し上げます

今年前半の景気見通しについて主要30社トップに新春景気アンケートを実施した結果、「景気は緩やかに回復」と回答する方が多かったようです。実質経済成長率は2.0%~3.0%(自動車・機械・鉄鋼分野では3.0%以上)、日経平均株価は25,000円内外、円の対ドル相場は100~110円程度で推移するとの見方が大半でした。そして、日本経済再生に向けてのキーワードは「コロナ禍の克服」や「デジタル化」「自動化」「ニューノーマルの構築」等々を掲げています(読売新聞社2020.12)。一方、新型コロナウイルス感染症の急増を受けて、年明け早々に一都三県に「緊急事態宣言」が発出されました。東京・神奈川における医療現場では病床使用率が限界に近づき、ICUを必要とする重病患者の受け入れも出来なくなるなど、昨年にも増して危機感を募らせています。そのような中、感染リスクに直面しながら医療現場で従事する医療スタッフの皆さんには心底頭の下がる思いがいたします。

2017年7月に105歳で亡くなった聖路加病院の日野原先生は、「生活習慣病」の名付け親であり、医療現場で生涯現役を貫いたことでも知られています。1954年当時、聖路加病院の内科医長として日本初の「人間ドッグ」の開始に参画。動脈硬化・糖尿病・脳卒中など中年以降にみられる疾患は「成人病」とよばれていましたが、「生活習慣病」に改名することで、人々の生活習慣を改める意識が高まり、「予防医療」の考え方が日本に定着しました。1995年に起きた地下鉄サリン事件では、640名の被害者すべてを受け入れ、素早い対応で多くの命を救い、国内外で注目されました。日野原院長の的確な判断と研修医を含めた医療スタッフ全員が救急医療の知識と応急措置を学ぶという同病院の方針が奏功したそうです。「非常時に役立つ病院でありたい」という日野原先生の考えが、遺憾なく発揮された瞬間だったのでしょうか。このように「医療改革」に奔走するとともに医師や看護師教育にも注力された考え方や実践力などから学ぶべきところが多分にあります。

さて、今年は丑年です。牛は大変な農作業をしっかりと手伝ってくれる働きぶりから、「耐える」、「これから発展する前触れ・芽が出る」という年と言われています。今年も、まさに自らを守り、周りの人も守るという意識を高めつつ、コロナに打ち勝っていく正念場の年となります。先を急がず一歩一歩着実に物事を進めていくことが大切だということでしょう。

結びにあたり、さがみはら産業創造センターは、地域企業の皆さまの発展成長につながる支援・サービスに取り組み、相模原市を中心とした地域経済の活性化に向けて一歩一歩前進してまいります。そして、何よりも新しい一年が地域企業の皆さまにとりまして飛躍・発展の年となりますよう心よりご祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞ、よろしく願い申し上げます。

株式会社 さがみはら産業創造センター
代表取締役 **橋元 雅敏**



中華料理 慶福楼

2021年2月12日は春節(旧正月)。本場中国の春節料理について、慶福楼(橋本駅徒歩5分)の老板(料理長)にお聞きしました。

春節は、各家庭で鶏、アヒル、豚、魚など豪華な料理で祝います。特に、北の地域では、昔の水餃子が元宝(昔の銀貨)の形で富をもたらす縁起の良いものとされていたことから、水餃子を食べて祝います。老板の出身地・中国福建省では、一年の健康安全、長寿を祈願して1mの長い寿面(そうめんのような麺)を食べて祝います。

今回は、モチモチとした食感の水餃子、薄味が癖になりそうな海鮮・肉出汁の温かい寿面、うまみが詰まった旬の牡蠣の鉄板焼きをいただきました。温かい寿面は、春節の特別メニュー。食べたい方は慶福楼スタッフにお声掛けください。また、料理のテイクアウトもできます。今年の春節は、中華料理を楽しみませんか?(稲垣)



相模原市緑区橋本6-26-4

営業時間 11:00-15:00(ランチタイム)、17:00-23:00
定休日 年中無休
TEL 042-775-6568

エビチリソース(テイクアウト)

第43回 南西フォーラム 参加者募集!!



ポストコロナ社会でチャンスをつかめ!

～コロナ禍により明らかになった“これからのビジネス”とは～

内容

1

「変化が加速したビジネス環境と
アフターコロナを見据えた取り組みの可能性」

基調講演
16:10～

講師:株式会社日本総合研究所
リサーチ&コンサルティング部門
理事 山田 英司氏



HPはこちら

2

「楽しくなければ、仕事じゃない!
～常識を覆す高利益率のデジタルものづくりとは」

事例発表①
16:50～

講師:HILLTOP株式会社
代表取締役副社長 山本 昌作氏



HPはこちら

3

「コロナにも負けない販売戦略
～雇用を守りつつ前に進むビジネスモデル～」

事例発表②
17:40～

講師:株式会社生活の木
代表取締役 C.E.O 重永 忠氏



HPはこちら

4

「フォーラムを振り返って」

まとめ
18:20～

講師:株式会社日本総合研究所
リサーチ&コンサルティング部門
理事 山田 英司氏

【日時】 令和3年(2021年)2月10日(水)16:00～18:30
【方式】 オンライン開催(Zoomウェビナー)
【定員】 100名(申込順)
【参加費】 無料
【申込方法】 南西フォーラムのWEBサイトより
【お問い合わせ】 事業創造部 磯谷・安藤

申し込みはこちら



第21回 ビジネスと経営の実践者が語る経営者セミナー

「すぐやる！」経営術が真価を発揮する時! ～混迷期に求められるビジネスモデルとは～

老舗企業の三代目社長として就任したのは、日本製Tシャツメーカーが絶滅危惧種にまで落ち込んだ1991年。インターネットの萌芽をいち早く捉え、ビジネスに取り入れた久米繊維工業はTシャツに新たな価値と役割を吹き込んだ。経営という“修羅場”の経験、そしてその先に見えた地域と未来についてご講演いただきます。

【講師】 久米繊維工業 株式会社
取締役相談役 久米 信行氏



久米繊維工業 株式会社 HP

【日時】 令和3年(2021年)2月24日(水)16:00～18:00

【方式】 オンライン開催(Zoomウェビナー)

【定員】 100名(申込順)

【参加費】 無料

【申込方法】  SICのWEBサイトより

【お問い合わせ】 事業創造部 中村・磯谷



【募集予告】ロボット操作教育(基礎コース)

産業用ロボットの導入をお考えの方などを対象に、安全衛生特別教育規程に基づき、産業用ロボットの基礎的な動作とプログラミングを学べる講座を開催します。

【講師】 三菱電機システムサービス株式会社

HPはこちら


【日時】 令和3年(2021年)3月17日(水)・18日(木)
9:00～17:00(2日間開催)



【会場】 さがみはらロボット導入支援センター
(相模原市緑区西橋本5-4-30 SIC-2 R&D Lab. 1F・2112号室)

【定員】 4名(相模原市内企業優先。1社1名まで)

【参加費】 10,000円(消費税別)

【申込方法】  2月頃より参加者の募集を開始する予定です。
募集が始まり次第、さがみはらロボット導入支援センターのメールマガジンでご案内いたします。
<ご登録はこちらから

【お問い合わせ】 事業創造部 樽川

※本講座は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施したうえで開催いたします。受講される方は、「受付時の検温(非接触型体温計を使用)」「マスク着用」「手指消毒」等へのご協力をお願いいたします。

2021.2 SIC EVENT CALENDAR イベントカレンダー

- 2月10日(水) 第43回 南西フォーラム
- 2月24日(水) 第21回 経営者セミナー
- 3月17日(水)・18日(木) ロボット操作教育(基礎コース)

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によって、日程や会場等を変更する場合があります。

入居企業を募集しています。

SIC空室情報 (令和3年1月15日 現在) ※お気軽にお問い合わせください。

部 屋	空室数	賃料/月額 (共益費込・消費税抜き)
SIC-1 Startup Lab.	○スモールオフィスA(23.6㎡×2)	1※1 157,400円
	○スモールオフィスB(17.3㎡)	1※2 64,200円
SIC-2 Creation Lab.	○セミラボ(50.2㎡)	2※3 172,700円

※1 二間続き ※2 4月から入居可能 ※3 1部屋は6月から入居可能

編集後記

ミヨシ・ロジスティックスの吉田社長は、2016年1月号から現在に至るまで、「かながわ経済新聞(毎月11日発行)」で『吉田英訓の着眼大局 着手小局～人と企業～』と題した連載記事を寄稿しています。毎年様々なテーマを取り上げており、2020年は「アウトソーシングの活用法」でした。ちなみに2021年のテーマは、「人と企業」だそうです。皆様もぜひチェックしてみてください!



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想を
お待ちしております。

ウェブサイト <https://www.sic-sagamihara.jp/>